

異動届記入例（従業員の方の退職等により、残りの税額を事業所が一括して納付する場合）

受付印		令和8年度		市処理欄		年度		年度		
市町村民税 給与支払報告書 道府県民税 特別徴収		に係る給与所得者異動届出書								
洲		名称 (氏名) 所在地 (住所) 法人番号		株式会社○○○○商事 ××県△△市○○		給与担当 係 担当者 フリガナ 氏名 電話		特別徴収 指定番号 ○○××△△		
令和8年		異動があった従業員 の方のお名前、生年 月日、住所等を記載 してください。				山田 太郎				
給与 所得者 徴収者	フリガナ	スモト ハナコ	新姓	(ア)特別徴収税額 (年額税)	円 120,000	(イ)徴収済額	(ウ)未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日 6月分から 7月分まで	異動の事由 ①退職 ②転勤 ③休職・長欠 ④死亡 ⑤その他 ()	1)特別徴収継続 2)一括徴収 3)普通徴収 (本人が納付する)
	氏名	洲本 花子			円 20,000	円 100,000	8月分から 5月分まで	令和8年 8月31日		
	生年月日	大昭平 63年6月26日								
	個人番号	××××△△△△○○○○								
	住所	1月1日現在 洲本市 本町1-4-10								
	異動後	同上								
◎給与所得者が新しい給与支払者(特別徴収義務者)による「特別徴収の継続」を希望される場合には以下の項目にも必ず記載してください。←										
新しい給与支払者 (特別徴収義務者)	所在地 名称	特別徴収指定番号 (電話 - - -)			左記特別徴収義務者へは月割額 円を 月分から徴収するよう連絡済です。 受給者番号					
◎給与等の支払を受けなくなった後の月割額(退職した月を除く)の一括徴収について次の欄に必ず記載してください。←										
一括徴収する場合				徴収予定期日	徴収予定期額 (上記(ウ)と同額)	備考				
1)異動の日が6月1日から12月31までの間で本人からの申出があつたため。 2)異動の日が1月1日から4月30までの間で特別徴収の継続の希望がないため。				8月31日	100,000円	左記の一括徴収した税額は 8 月分で納入します。(翌月10日納期限)				
一括徴収しない場合										
1)異動の日が6月1日から12月31までの間で本人からの申出がないため。 2)特別徴収の継続の希望があるため。(転勤の場合も含む。) 3)異動の日が1月1日から4月30までの間で残税額(上記(ウ)の額)を超える給与または退職手当等の支払がないため。 4)死亡による退職のため。				従旧特別徴収欄	年度	月分以後 の月割額は	1)特別徴収義務者を変更 2)普通徴収へ切替	3)一括徴収 4)その他	点検	
				従新特別徴収欄	年度	月分以後 の月割額は	1)特別徴収義務者を変更 2)普通徴収へ切替	3)一括徴収 4)その他	点検	
記載 載 注 意 1 この届出書は給与支払報告に係る給与所得者異動届出書と特別徴収に係る給与所得者異動届出書が同じ様式になっています。異動届出書は給与の支払を受けなくなった日の属する月の翌月10日までにそれぞれ関係市区町村へ提出してください。 2 大線()で囲んでいる部分についてのみ記載してください。 3 「1月1日以降退職時までの給与支払額」欄には、退職により給与の支払を受けなくなった場合に、その年の1月1日から退職時までに支払の確定した給与の額を、「控除社会保険料額」欄には、その年の1月1日から退職時までに給与から控除した社会保険料の額を記載してください。 4 「一括徴収」に関する記載は、次により記載してください。なお、「一括徴収しない場合」でも必ず必要事項を記載してください。 一括徴収する場合は、理由欄の1又は2を○で囲み、右の「徴収予定期額」欄等に所要事項を記載してください。 一括徴収しない場合には、理由欄の1から4のうち該当する項目を○で囲んでください。										

異動届記入例（従業員の方の退職等により、残りの税額を本人が普通徴収により支払う場合）

<p>受付印</p> <p>令和 8 年度</p> <p>市町村民税 給与支払報告 道府県民税 特別徴収 に係る給与所得者異動届出書</p> <p>洲 令和 8 年</p> <p>異動があつた従業員の方のお名前、生年月日、住所等を記載してください。</p> <p>で退職つて日もが、一必月ず一残日税から額らを四まと三め十で日徴までしのて間くのだ方にいつ。いては、本人からの申出がない場合</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">名称 (氏名)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">株式会社〇〇〇〇商事</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">給与担当 係</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">特別徴収 指定番号</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">〇〇××△△</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">所在地 (住所)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">××県△△市〇〇</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">担当者 氏名 電話</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">山田 太郎 ×× - ×××× - ××××</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">法人番号</td> <td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">×</td><td style="text-align: center;">△</td><td style="text-align: center;">△</td><td style="text-align: center;">△</td><td style="text-align: center;">△</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td><td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">フリガナ</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">スモト ハナコ</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">(ア)特別徴収税額 (年額税)</td> <td style="text-align: center;">(イ)徴収済額</td> <td style="text-align: center;">(ウ)未徴収税額 (ア)-(イ)</td> <td style="text-align: center;">異動年月日</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">異動の事由</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">異動後の未徴収税額の徴収方法</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">氏名</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">洲本 花子</td> <td style="text-align: center;">円 6 月分から</td> <td style="text-align: center;">9 月分から</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">令和 8 年 8 月 31 日</td> <td style="text-align: center;">①退職</td> <td style="text-align: center;">1 特別徴収継続</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生年月日</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">大昭平 63 年 6 月 26 日</td> <td style="text-align: center;">8 月分まで</td> <td style="text-align: center;">5 月分まで</td> <td style="text-align: center;">②転勤</td> <td style="text-align: center;">2 一括徴収</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">個人番号</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">××××△△△△〇〇〇〇</td> <td style="text-align: center;">120,000</td> <td style="text-align: center;">円 30,000</td> <td style="text-align: center;">円 90,000</td> <td style="text-align: center;">③普通徴収 (本人が納付する)</td> <td style="text-align: center;">3 休職・長欠</td> <td style="text-align: center;">4 死亡</td> <td style="text-align: center;">5 その他</td> <td style="text-align: center;">控除社会保険料額</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">住所</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">1月1日現在 洲本市 本町1-4-10</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">同上</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">◎給与所得者が新しい給与支払者(特別徴収義務者)による「特別徴収の継続」を希望される場合には以下の項目にも必ず記載してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">所在地</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">特別徴収指定番号 (電話 - - -)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">左記特別徴収義務者へは月割額 円を 月分から徴収するよう連絡済です。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">新しい給与支払者 (特別徴収義務者) 名称</td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">受給者番号</td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">◎給与等の支払を受けなくなつた後の月割額(退職した月を除く)の一括徴収について次の欄に必ず記載してください。</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">一括徴収する場合</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">徴収予定額 (同額)</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">備 考</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">一括徴収しない場合</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">残りの税額を一括で徴収できない理由について、該当するものを選んでください。</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">一括徴収しない場合</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">①異動の日が6月1日から12月31までの間で本人からの申出があつたため。 ②異動の日が1月1日から4月30までの間で特別徴収の継続の希望がないため。</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">一括徴収しない場合</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">①異動の日が6月1日から12月31までの間で本人からの申出がないため。 ②特別徴収の継続の希望があるため。(転勤の場合も含む) ③異動の日が1月1日から4月30までの間で残税額(上記(ウ)の額)を超える給与または退職手当等の支払がないため。 ④死亡による退職のため。</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)</td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align: center;">記載注意意 1 この届出書は給与支払報告に係る給与所得者異動届出書と特別徴収に係る給与所得者異動届出書が同じ様式になっています。異動届出書は給与の支払を受けなくなつた日の属する月の翌月10日までにそれぞれ関係市区町村へ提出してください。 2 太線 <input type="checkbox"/> で囲んでいる部分についてのみ記載してください。 3 「1月1日以後退職までの給与支払額」欄には、退職により給与の支払を受けなくなつた場合に、その年の1月1日から退職時までに支払の確定した給与の額を、「控除社会保険料額」欄には、その年の1月1日から退職時までに給与から控除した社会保険料の額を記載してください。 4 「一括徴収」に関する記載は、次により記載してください。なお、一括徴収しない場合でも必ず必要事項を記載してください。 一括徴収する場合は、理由欄の1又は2を○で囲み、右の「徴収予定額」欄等に所要事項を記載してください。 一括徴収しない場合には、理由欄の1から4のうち該当する項目を○で囲んでください。</td> </tr> </table>	名称 (氏名)	株式会社〇〇〇〇商事			給与担当 係	特別徴収 指定番号	〇〇××△△	所在地 (住所)	××県△△市〇〇			担当者 氏名 電話	山田 太郎 ×× - ×××× - ××××		法人番号	×	×	×	×	×	△	△	△	△	○	○	○	○	フリガナ	スモト ハナコ			(ア)特別徴収税額 (年額税)	(イ)徴収済額	(ウ)未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由			異動後の未徴収税額の徴収方法			氏名	洲本 花子			円 6 月分から	9 月分から	令和 8 年 8 月 31 日	①退職	1 特別徴収継続	生年月日	大昭平 63 年 6 月 26 日			8 月分まで	5 月分まで	②転勤	2 一括徴収	個人番号	××××△△△△〇〇〇〇			120,000	円 30,000	円 90,000	③普通徴収 (本人が納付する)	3 休職・長欠	4 死亡	5 その他	控除社会保険料額	住所	1月1日現在 洲本市 本町1-4-10			同上									◎給与所得者が新しい給与支払者(特別徴収義務者)による「特別徴収の継続」を希望される場合には以下の項目にも必ず記載してください。												所在地				特別徴収指定番号 (電話 - - -)			左記特別徴収義務者へは月割額 円を 月分から徴収するよう連絡済です。			新しい給与支払者 (特別徴収義務者) 名称										受給者番号			◎給与等の支払を受けなくなつた後の月割額(退職した月を除く)の一括徴収について次の欄に必ず記載してください。												一括徴収する場合				徴収予定額 (同額)			備 考			一括徴収しない場合				残りの税額を一括で徴収できない理由について、該当するものを選んでください。			左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)			一括徴収しない場合				①異動の日が6月1日から12月31までの間で本人からの申出があつたため。 ②異動の日が1月1日から4月30までの間で特別徴収の継続の希望がないため。			左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)			一括徴収しない場合				①異動の日が6月1日から12月31までの間で本人からの申出がないため。 ②特別徴収の継続の希望があるため。(転勤の場合も含む) ③異動の日が1月1日から4月30までの間で残税額(上記(ウ)の額)を超える給与または退職手当等の支払がないため。 ④死亡による退職のため。			左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)			記載注意意 1 この届出書は給与支払報告に係る給与所得者異動届出書と特別徴収に係る給与所得者異動届出書が同じ様式になっています。異動届出書は給与の支払を受けなくなつた日の属する月の翌月10日までにそれぞれ関係市区町村へ提出してください。 2 太線 <input type="checkbox"/> で囲んでいる部分についてのみ記載してください。 3 「1月1日以後退職までの給与支払額」欄には、退職により給与の支払を受けなくなつた場合に、その年の1月1日から退職時までに支払の確定した給与の額を、「控除社会保険料額」欄には、その年の1月1日から退職時までに給与から控除した社会保険料の額を記載してください。 4 「一括徴収」に関する記載は、次により記載してください。なお、一括徴収しない場合でも必ず必要事項を記載してください。 一括徴収する場合は、理由欄の1又は2を○で囲み、右の「徴収予定額」欄等に所要事項を記載してください。 一括徴収しない場合には、理由欄の1から4のうち該当する項目を○で囲んでください。												<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">市 処 理 欄</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p>退職、転職など、住民税を天引きできなくなった理由を選び、残りの税額についてどのように徴収するかを選んでください。</p> <p>3. 普通徴収…残りの税額を従業員本人が納付します。(この異動届を確認した後、洲本市からご本人様に納付書をお送りします。)</p>	市 処 理 欄	年度										
名称 (氏名)	株式会社〇〇〇〇商事			給与担当 係	特別徴収 指定番号	〇〇××△△																																																																																																																																																																																															
所在地 (住所)	××県△△市〇〇			担当者 氏名 電話	山田 太郎 ×× - ×××× - ××××																																																																																																																																																																																																
法人番号	×	×	×				×	×	△	△	△	△	○	○	○	○																																																																																																																																																																																					
フリガナ	スモト ハナコ			(ア)特別徴収税額 (年額税)	(イ)徴収済額	(ウ)未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由			異動後の未徴収税額の徴収方法																																																																																																																																																																																										
氏名	洲本 花子				円 6 月分から	9 月分から	令和 8 年 8 月 31 日	①退職	1 特別徴収継続																																																																																																																																																																																												
生年月日	大昭平 63 年 6 月 26 日			8 月分まで	5 月分まで	②転勤		2 一括徴収																																																																																																																																																																																													
個人番号	××××△△△△〇〇〇〇			120,000	円 30,000	円 90,000	③普通徴収 (本人が納付する)	3 休職・長欠	4 死亡	5 その他	控除社会保険料額																																																																																																																																																																																										
住所	1月1日現在 洲本市 本町1-4-10			同上																																																																																																																																																																																																	
◎給与所得者が新しい給与支払者(特別徴収義務者)による「特別徴収の継続」を希望される場合には以下の項目にも必ず記載してください。																																																																																																																																																																																																					
所在地				特別徴収指定番号 (電話 - - -)			左記特別徴収義務者へは月割額 円を 月分から徴収するよう連絡済です。																																																																																																																																																																																														
新しい給与支払者 (特別徴収義務者) 名称										受給者番号																																																																																																																																																																																											
◎給与等の支払を受けなくなつた後の月割額(退職した月を除く)の一括徴収について次の欄に必ず記載してください。																																																																																																																																																																																																					
一括徴収する場合				徴収予定額 (同額)			備 考																																																																																																																																																																																														
一括徴収しない場合				残りの税額を一括で徴収できない理由について、該当するものを選んでください。			左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)																																																																																																																																																																																														
一括徴収しない場合				①異動の日が6月1日から12月31までの間で本人からの申出があつたため。 ②異動の日が1月1日から4月30までの間で特別徴収の継続の希望がないため。			左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)																																																																																																																																																																																														
一括徴収しない場合				①異動の日が6月1日から12月31までの間で本人からの申出がないため。 ②特別徴収の継続の希望があるため。(転勤の場合も含む) ③異動の日が1月1日から4月30までの間で残税額(上記(ウ)の額)を超える給与または退職手当等の支払がないため。 ④死亡による退職のため。			左記の一括徴収した税額は _____ 月分で納入します。(翌月10日納期限)																																																																																																																																																																																														
記載注意意 1 この届出書は給与支払報告に係る給与所得者異動届出書と特別徴収に係る給与所得者異動届出書が同じ様式になっています。異動届出書は給与の支払を受けなくなつた日の属する月の翌月10日までにそれぞれ関係市区町村へ提出してください。 2 太線 <input type="checkbox"/> で囲んでいる部分についてのみ記載してください。 3 「1月1日以後退職までの給与支払額」欄には、退職により給与の支払を受けなくなつた場合に、その年の1月1日から退職時までに支払の確定した給与の額を、「控除社会保険料額」欄には、その年の1月1日から退職時までに給与から控除した社会保険料の額を記載してください。 4 「一括徴収」に関する記載は、次により記載してください。なお、一括徴収しない場合でも必ず必要事項を記載してください。 一括徴収する場合は、理由欄の1又は2を○で囲み、右の「徴収予定額」欄等に所要事項を記載してください。 一括徴収しない場合には、理由欄の1から4のうち該当する項目を○で囲んでください。																																																																																																																																																																																																					
市 処 理 欄	年度																																																																																																																																																																																																				

異動届記入例（従業員の方の転勤等により、特別徴収を別事業所で継続する場合）

受付印	令和 8 年度 市町村民税 給与支払報告 道府県民税 特別徴収		に係る給与所得者異動届出書		市 処 理 欄	年度	年度		
洲	令和 8 年	特 別 徴 収 欄	名称 (氏名)	株式会社○○○○商事		給与担当 係 担当者 フリガナ 氏名 山田 太郎 電話 ××-××××-××××	特別徴収 指定番号 ○○××△△		
			所在地 (住所)	××県△△市○○					
異動があった従業員 の方のお名前、生年 月日、住所等を記載 してください。						退職、転職など、住民税を天引きできなく なった理由を選び、残りの税額について どのように徴収するかを選んでください。			
給 与 所 得 者	フリガナ	スモト ハナコ	新 姓	(ア)特別徴収税額 (年額税)	(イ)徴収済額	(ウ)未徴収税額 (ア)-(イ)	異動年月日	異動の事由	異動後の未徴 収税額の徴収方法
	氏名	洲本 花子		円	6 月分から	9 月分から	令和 8 年	1 退職 2 転勤 3 休職・長欠 4 死亡 5 その他	1 特別徴収継続 2 一括徴収 3 普通徴収 (本人が納付する)
	生年月日	大昭平 63 年 6 月 26 日		120,000	8 月分まで	5 月分まで	円	8 月 31 日	円
	個人番号	××××△△△△○○○○		30,000	90,000				
	住所	1月1日現在	洲本市 本町1-4-10						
	異動後	同上							
◎給与所得者が新しい給与支払者(特別徴収義務者)による「特別徴収の継続」を希望される場合には以下の項目にも必ず記載してください。←									
新しい給与支払者 (特別徴収義務者)	所在地〒 ×××-××××	□□県○○市×		特別徴収指定番号		左記特別徴収義務者へは月割額 10,000 円を 9 月分から徴収するよう連絡済です。			
	名称			(電話 - - -)		受給者番号			
◎給与等の支払を受けなくなった後の支払日について次の欄に必ず記載してください。←									
一括徴収する場合		従業員の方の転勤先の事業所情 報を記載してください。(新規事業 所の場合、特別徴収指定番号は空 欄としてください。)		徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	左記の一括徴収した税額は _____ 0日納期限)				
一括徴収しない場合		理由 1 異動の日が6月1日から12月31日までの 間。 2 異動の日が1月1日から4月30日までの 間。		円	転勤先の事業所から、何月 分より特別徴収するか記載 してください。				
記 載 注 意		1 この届出書は給与支払報告に係る給与所得者異動届出書と特別徴収に係る給与所得者異動届出書が同じ様式になっています。異動届出書は給与の支払を受けなくなった日の翌月10日までに それぞれ関係市町村へ提出してください。 2 太線 □ で囲んでいる部分についてのみ記載してください。 3 「1月1日以降退職時までの給与支払額」欄には、退職により給与の支払を受けなくなった場合に、その年の1月1日から退職時までに支払の確定した給与の額を、「控除社会保険料額」欄には、 その年の1月1日から退職時までに給与から控除した社会保険料の額を記載してください。 4 「一括徴収」に関する記載は、次により記載してください。なお、「一括徴収しない場合でも必ず必要事項を記載してください。 一括徴収する場合は、理由欄の1又は2を○で囲み、右の「徴収予定額」欄等に所要事項を記載してください。 一括徴収しない場合には、理由欄の1から4のうち該当する項目を○で囲んでください。							

切替申請書記入例（従業員の方の入社など、新しく特別徴収を開始する場合）

		令和 8 年度 市県民税 普通徴収から特別徴収への切替申請書		洲使用本用市欄	入力	チェック
受付印		所在地		特別徴収義務者 指 定 番 号	OO××△△・新規	
令和 8 年 6 月 1 日		給与特別徴収義務者 支払	所在地	法 人 番 号		
		フリガナ	× × × × - × × × ×	係	給与担当	
		名 称	× × 県△△市〇〇	フリガナ		
		表者の ・ 氏 名	カブシキガイシャ〇〇〇〇ショウジ	氏名	山田 太郎	
			株式会社〇〇〇〇商事	電話番号	× × - × × × × - × × × ×	
		特別徴収を新たに開始する従業員の方のお名前等を記載してください。		特別徴収を開始する、普通徴収の納期を記載してください。本人が支払済みの納期や、納期限後の申請はできません。 (※この申請書を確認の後、徴収して頂く月々の税額を記載した通知を、洲本市よりお送りします。)		
		所得者		左記の者の市県民税について		
		フリガナ	スモト ジロウ	普通徴収の 1 期から4期までを		
		氏 名	洲本 次郎	6 月分(7 月10日納期限)より		
		生 年 月 日	大昭平 × × 年 × 月 × 日	特別徴収します。		
		1月1日現在の住所	洲本市 本町一丁目4番10号	受給者番号		
		現 住 所	同上	納入書(納付書)		
		普 通 徴 収 納 税 通 知 書 番	0 0 0 0 0 0	要・不要		
申請理由 (いずれかの数字に○をつけてください。)		<p>① 令和 8 年 4 月 1 日付入社のため 2. 本人(給与所得者)から特別徴収にする希望があったため 3. 正社員になったため 4. その他(右記理由による) []</p> <p>該当する申請理由に○および必要事項の記載をお願いします。</p>				
注 意 事 項		<ul style="list-style-type: none"> ご本人あてに送付された納付書を同封してください。 すでに普通徴収により納付された分は、領収書のコピーを同封してください。 				

※住民税の納付方法を、普通徴収(個人納付)から特別徴収(給与天引)に変更する場合に使用。

納期特例申請書記入例（特別徴収を年2回払いとする場合）

受付印

市民税・県民税特別徴収税額の納期の特例に関する申請書

申請者の名称及び住所を、特別徴収指定番号欄には洲本市から通知している指定番号を記載してください。

令和 8 年 6 月 1 日 提出 洲本市長様	申請者	住所又は所在地	× × 県△△市○○	電話番号	× × - × × × - × × ×
		氏名又は名称	株式会社○○商事	法人番号	× × × × × △△△△○○○○○
特別徴収義務者指定番号					

地方税法第321条の5の2の規定による市民税・県民税特別徴収税額の納期の特例について承認を申請します。

特例の適用を受けようとする税額	令和 8 年 7 月分（8 月 10 日納期分）以降の納期に係る市民税・県民税特別徴収税額					
申請前6ヶ月間の各月末の給与の支払を受ける者の総人員及び各月の支払総金額 (常は常時勤務者、臨は臨時雇用者)	令和 8 年 1 月	常 5 人	1,000,000 円	令和 8 年 4 月	常 6 人	1,200,000 円
		臨 2 人	300,000 円		臨 2 人	300,000 円
	令和 8 年 2 月	常 5 人	1,000,000 円	令和 8 年 5 月	常 6 人	1,200,000 円
	臨 2 人	300,000 円		臨 3 人	450,000 円	
令和 8 年 3 月	常 5 人	1,000,000 円	令和 8 年 6 月	常 6 人	1,200,000 円	
	臨 3 人	450,000 円		臨 3 人	450,000 円	
現に市税の滞納があり、または最近において著しい納付遅延があり、それがやむを得ない事由がある場合は、その事由の詳細	洲本市在住の従業員数ではなく、従業員の総人員数となります。					
この申請書の提出日以前1年以内に納期の特例につきその承認の取消通知を受けたことの有無	有		・	無	取消通知年月日	令和 年 月 日

◎申請についての説明及び注意事項

申請についての承認条件は、

- 給与の支払を受ける者（洲本市内在住、市外在住を問わず）が常時10人未満であること。
- 市税の滞納や納入の遅延がないこと。（やむを得ない場合を除く。）
- 申請書の提出日以前1年以内に納期の特例につきその承認の取消通知を受けていないこと。
以上の条件に該当し、承認を受けた以後に給与の支払を受ける者が常時10人以上となった場合は、遅滞なくその旨を市長に届出なければなりません。

※市処理欄	処理区分	承認	却下	<却下の理由>	
	上記のとおり決定してよろしいか				
	令和 年 月 日				
	課長	課長補佐	係長	係	起案